



次世代を担う若者に、少しでも議会の存在を身近に感じてほしいという思いから、9月28日、講場と委員会室で日本赤十字九州国際看護大学4年生の片山航大（こうだい）さん、宮之原里咲（りさ）さん、峯まはるさんと、広報編集部会の上野崇之議員、岩岡良議員、木藤裕司議員、川内亮議員とで意見交換を行いました。講場見学や模擬採決も体験してもらいました。
※新型コロナウイルス感染症対策に留意し実施しました。

◆宗像の好きなところ・残念なところ

上野…今日は宗像市議会に来てくれてありがとうございます。宗像市の好きなところ、それから残念なところがありましたら教えてください。
片山…大島は海もきれいだし、生活の中に信仰が息づいていて、住民が世界遺産に愛着を持っていると感じます。交通の便は、ちょっと使いにくいですが、自然も豊かで、海でとれるお魚もおいしく、宗像が好きだなと思います。
宮之原…県外から大学進学のため宗像市に来ましたが、自然がとても豊かだ

と感じます。赤間駅近くの川沿いの桜並木が好きでよく散歩しています。また駅周辺は買い物しやすいと感じますが、場所によっては、坂が多くて買い物に行きづらい人もいると感じています。
峯…ファミリー層や元気な高齢者が多く、活気があるまちだと思います。交通の便については、やはり地域差があるのかなと思います。車がなければ3号線があって利便性が高いですが、高齢の方で免許返納した人にとっては、生活がしやすいのかなと感じます。

上野…議員からも宗像の好きなところ・残念なところや学生にコメントがあれば、一言お願いします。
岩岡…高校生との意見交換にも参加しましたが、高校生と大学生では、まちに求めるもの・考え方にこれだけの違いが出るんだなと感じています。今後のまちづくりのためにはこういった住民がどんなニーズを持っているのかを把握していかないといけないと思っています。

川内…私は東京で仕事をしていました。宗像に帰ってきました。宗像は住みやすいし、魚や水、空気もいい。

車さえあればということはずごく感じるところで、高齢者が運転免許返納されたり、車を持たない独居の方が増えたりしていく中で、そういったことを最重要課題として取り組んでいきたいと考えております。
木藤…宗像市は福岡にも北九州にも通勤でき、非常に治安もいい。住みよい安全・安心な宗像というのをもっとアピールしていきたいですね。
上野…今の学生の皆さんの話や事前アンケートを見て、議員から伝えられるエピソードなどがあれば、御紹介お願いします。
岩岡…公共交通の問題は非常に難しいですね。宗像市単独で1〜2年で解決できる問題ではないですし、少しずつ改善している現状です。例えば、日の里ではオンデマンドバス「のるーと」の運行が始まって、デジタル技術も活用しながら、少しずつ挑戦していったところかなと思います。ただ補うことはできても課題の本質は変わらないと思います。先ほど、峯さんから免許返納の話が出ましたが、以前、免許返納について一般質問で取り上げました。市民から相談を受けまして、自分

の利便性を捨てても人に迷惑をかけないようにと免許を返納したけれど、市から補助してもらったバスやタクシーのチケットを使い切ったら、自己負担になる、苦しいじゃないかという話でした。これは市が悪いという話ではなく、こういった声があるよと議場で話をしました。高齢化により車を手放す方が増えていく中で、免許返納した全ての方にチケットをあげ続けるとお金は足りなくなります。僕の場合は、運転が危なくなるような年齢あるいはその判断が出来なくなるような状況になったら、それは手放しもらわないかなと思います。でも的確な判断ができる、足腰も動く、頭もしっかり働くと、そういう状況だったら幾らでも運転してもらってもいいのかなと思うんです。そういった健康な高齢者をどう増やしていくのかということに視点を置いていくのかということ緊急を少し先延ばしさせることができるのかなと思います。
また市が管理する市道と県が管理する県道などがあります。市道は市の権限と財源で管理していかないといいけない。一方で県道は市に権限がないんで



す。市から県に要望を上げて、県に予算をとってもらうので、市だけでは解決出来ない。そこで政治力が必要になってきます。この政治力を高めるために、その規模がどのくらいか、どういうまちを目指そうとしているのかを、市民と市長と議会と共有した上で、「こんなまちづくりのためにこれが必要だ」という形で、強く要望していかないといいません。



立場で、一緒に視座に立つて見えない
ではないかなと感じます。あちらの
世界、こちらの世界ではなくて、全員
が自分事のように考えて一緒に地域で
支えていく、一緒に共存していくこと
が必要なのかなと。私が考えているの
は、小学校などの教育機関と連携して、
小さいときから認知症や精神疾患を身
近に感じてもらう、世代に合わせた教
育が必要なのかなと。こういう方々が

いるからこそ社会なんだというか、
そういう方々が生きてる意味って絶
対にあると思うので、それを幼いとき
からの教育を通して、社会の共存と
いったところで持続可能なものにな
っていくのかなと思います。
[片山]… 施策を行うにしても行政だけ
は難しいと思うのですが、議会と行政
の連携はどのように行われていますか
[宮之原]… 実習で地域包括支援センタ
ーに行かせていただきました。実習の中
で様々な課題が見えましたが、市民の
方が生活しやすいように議員はどのよ
うな取り組みを行っていますか。
[川内]… 認知症サポーターや講座を活用
して地域全体で解決していく。その人
の当たり前を認められる社会への取り
組みが必要ですね。アンケートで議員
になった理由を知りたいとありました
が、私が議員になったきっかけは、ケ
アマネジャーの研修で、生物学的には
女性だけでも、男性としての性志向が
ある方が意見を述べた時のことです。
見た目と声のギャップで、会場が
ちよつとざわついて、私の隣の人は、
どっちやろうねと聞いてきました。何
で、反応してしまうんだろうと非常に



強い違和感を持って、皆さんもおっ
しやったように、あらゆる差別や偏見
と闘っていかねばいけないと感じ
たんです。これが議員になった強い動
機になっています。本当に人が優しい
気持ちになれるのも、殺伐とした気持
ちになるのも政治の責任というのは大
きいと私は思います。



上野…市と県で管理している道路が違
うだけで、なかなか解決しない課題が
あるというのは事実です。だからこそ
議会が陳情を上げていくとか、市長と
一体となって県に要望していくといっ
たところも、政治の役割です。
[川内]…私は以前、ケアマネジャーの仕
事をしていました。免許返納して、車
の運転が出来なくなったから、駅近に

引っ越してくださいとか、特養に入り
ましようといった簡単な話ではないと
私は思います。できるだけ長く、その
人が住み慣れた場所に住み続けられ
るように、行政があらゆる施策を用意
しておくべきだと考えています。ケア
マネジャーだった時代、その人が元氣
で長く住み続けられるように、あらゆる
行政の資源を利用してプランを立てて
いましたが、行政がどれだけのサービ
スを用意しているかは自治体によって
かなり違います。福岡市などの住宅地
が集まった場所でオンデマンドバスと
かを走らせるとすごく効率がいいん
です。でも宗像市は、面積が広くて、
住宅地が点在しているから効率が悪
くなる。だから、例えばタクシーが使
いやすいようにタクシードライバーを補助
するなどの施策が必要なんじゃないか
行政は長く住み続けてもらうために、
施策のバリエーションを用意すること
が、第1に必要なんじゃないかなと私
は思っています。
[木藤]…私の身近な人が、免許を取る
ときは問題ない生活をされていたのが、
精神的な病にかかれて非常に危ない
運転をするようになりました。私は知

り合いの警察官に相談したのですが、
本人が家族が言ってくれないと、対応
ができないよと。ですから、本人が出
来なければ、周りが気づいてあげない
といけない。免許の返納に関しても健
康管理にしても、本人は元気と思っ
ても、何かおかしいんじゃないって
周りが気づいてあげると。そういう周
りが気づいてあげることが大きな
ところかと思っています。
◆日頃考えていること・議員に聞いて
みたいこと
[上野]…せっかくの機会なので議員に聞
いてみたいこと、提案したいこと、日
頃考えていることなどを学生の皆さん
からお聞かせいただきたいと思います。
[望]…私たちは精神疾患の方や病気のあ
る方の支援というのにも勉強していま
して、認知症や精神疾患の方がすく
いなく感じています。その中で、偏見
とかそういったものってすくく大き
いと感じています。私は、精神疾患
があるから、病気があから、認知症
だからとか、そういったところで線引き
をしてしまうと、支援する側も対等な

岩岡…認知症や病のある方が隔離される一つの大きな背景は、日本が核家族化して、周囲との距離がとりづらくなったことが歴史的な原因だと思っています。昔は大家族主義で、おじいちゃんとおばあちゃんと一緒に住んで、そこにいろんな人がいて、周囲とのつながりが非常に強い中で、あの人、何とか助けてやらないといけないよねという



うのが自然に醸成された環境だったんだと思います。これが時代の変化に伴って核家族化して距離が離れていく、そして自治会に入る人が減っていく状況で他人が他人の面倒をどう見ていくのかという課題に変わっていったんだと思います。しかしこの共助が行き過ぎている環境があるんじゃないかという意見もあります。老老介護じゃないけれど、地域が地域を负担していくという負の悪循環に陥っている現状だと思ふんです。この負担をどう分散させながら全体で見るかというのが次の課題だと思っています。そこで一つ重要なのは、やはりお金だと思っています。振り分けられる財源を獲得していくことが最終的に弱者をどう守っていくかという環境整備につながっていくだろうと考えるので、目の前のことだけではなく全体として、市がどう弱者を守っていくのかという環境とセットで考えていきたいなと思います。また以前、難病についての相談を受けて一般質問をしたのですが、その後、補助制度ができたことがあります。市民の声を拾い、行政と一緒にできることを探り続けることが、議員として大切な取り組みで



あり行政と連携するということかなと感じています。
上野…そろそろ終わりの時間ですが、議員から学生の皆さんに聞きたいことはありますか。
岩岡…最後に1つだけお聞きしたいのですが、もし福岡に就職が決まっていたとしたら宗像に住みたいと思いますか。
宮之原…赤間駅周辺以外は交通の利便

性がちょっと悪かったりするので、微妙なところですよ。
片山…もし宗像市出身で、福岡市や北九州市に就職するのなら、宗像市に住んで通勤すると思います。
峯…何かの縁で宗像市にある大学に通っているの、選肢肢の1つではあると思います。

◆本日の感想

上野…最後に皆さんに今日の感想を聞きたいと思います。
峯…普段の生活に疑問を持ち、政治への興味や自分の考えを持つことが大事だと感じました。議員の皆さんがしっかり受け止めてくれることも実感できたので、いろんなことにアンテナを張っていききたいです。
片山…卒業後は県外の行政職員として行政に関わっていくことになりませんが、住民の声を行政だけじゃなく、地域全体で考えていくことがとても大切だと感じました。
宮之原…誰もが生活に不満を持ったり、生活しづらいと感じたりする瞬間があると思うのですが、それを市に伝える

のは難しいと感じていました。でも今日、一人一人のニーズを伝えていくことが大切だと感じました。みんなでまちをつくるという意識を自分自身も持って、周りの人にも伝えていきたいです。
川内…今日は本当にありがとうございました。若い人からエネルギーをもらえました。
岩岡…非常に勉強になりました。僕たちもいただいた課題について何ができるか探りながら活動していきたいなと思います。
木藤…みなさん、しっかりと考えた方を持っていて、質問も的確で、たくさん教わるがありました。就職先でも活躍されることを期待しています。

